

『フードシステム研究』報告論文投稿・審査について

1. 報告論文

報告論文とは、大会の個別報告を元にしたコンパクトな論文で、一点でも新知見がある、あるいは新たな研究方法・視点の提起、の何れかを満たすものです。論文作成については、下記、審査のチェックポイントを参考に執筆して下さい。なお、論文は未公開のものに限ります。

2. 審査・掲載

原則として審査員2名による2回までの審査を行い、採否は編集委員会が審査の上、決定します。また、掲載が認められたものは、各年3号（12月刊）に一括して掲載する予定です。

3. 投稿・審査の流れ（2011年大会の場合）

- ① 学会 HP 上で個別報告および報告論文投稿の登録を行い、様式に従って作成した報告要旨を下記投稿用アドレスに送信する(5/8まで)。
- ② 大会の受付時、審査料（5,000円）、学会費を支払い、個別報告を行う。
- ③ 報告論文（4または6ページ）を報告論文様式に従って作成し、学会費支払い記録を添付して下記投稿用アドレスに送信する（7/15まで）。
- ④ <審査者> 報告論文を確認し3週間以内に審査報告書を作成して、編集委員会に送信する。
- ⑤ 審査後、修正依頼があった場合、2週間以内に修正原稿と対応表を作成し、下記投稿用アドレスに送信する（9月中旬頃）。
- ⑥ <審査者> 前回指摘事項の修正を確認し3週間以内に審査報告書を作成して、編集委員会に送信する
- ⑦ 再審査後、再修正依頼があった場合、2週間以内に修正原稿と対応表を作成し、下記投稿用アドレスに送信する（10月下旬～11月上旬頃）。
- ⑧ 掲載が決定した場合、所定の掲載料（4ページの場合2万円、6ページの場合3万円）を振り込む。

投稿用アドレス：fsraj@ml.affrc.go.jp

※修正・審査期間が限られているため、提出や支払等の遅れは受け付けません。
また、混乱を避けるため、提出後の差し替えについても認めておりません。

4. その他

詳細は、[報告論文投稿規定](#)または[論文投稿規定](#)に準じます。不明な点については、学会HPまたは学会誌編集委員会（fsraj@ml.affrc.go.jp）までお問い合わせ下さい。

[参考] 報告論文審査のチェックポイント

1) オリジナリティについて

- ・いずれも満たしていない場合は不可とする。
 - 一点でも新知見がある
 - 新たな視点・研究方法の提起がある

2) 構成について

- ・著しく満たされていない項目があるかをチェックする。著しく満たされていない項目が多く、短期間で修正不可能な論文は不可とする。
 - タイトルが適切である
 - 研究レビューが適切である
 - 研究目的が明確である
 - 研究方法が適切である
 - 研究目的にあった結論を論理的に導き出している
 - 専門用語の使用が適切である
 - あきらかな事実誤認がない
 - 事例から一般化した結論を導き出している
 - 計算プロセス、モデルに誤りがない

3) 体裁について

- ・著しく体裁が整っていない論文は不可とする。
 - 日本語表現、あるいは英語表現が適切である
 - 本文、図表、注釈が規定の様式に従っている